

障がい当事者・家族の活動



障がい当事者・家族が中心となり「障がいがあっても住みやすい笛吹市のまちづくりを実現するためにはどうしたら良いのか」について平成26年から市長と直接意見交換を行う市民ミーティングを開催してきました。その意見を基に課題の整理を行い、4つのワーキンググループ
①児童・発達・住宅 ②移動支援 ③障がい理解普及・啓発 ④手話言語）を立ち上げて住みやすい環境づくりに向けた話し合いを行っています。

ワーキンググループには、当事者・家族のほか、内容に応じさまざまな機関が関わり、現状の共通理解を図るとともに、当事者ができることや行政ができることなどを役割分担しながら進めています。

1月22日には、手話言語に関するワーキングを開催し、当事者のほか、警察、消防、新聞社、県の聴覚障害関係機関など多数参加していただき情報共有や課

障がい者基幹相談支援センターだより



題検討などを行いました。

このワーキングには、手話通訳者と会議での発言を同時にパソコン入力しスクリーンに文字表示する要約筆記者が同席し、聴覚障害者や難聴者をサポートしました。



手話言語ワーキングの様子（中央奥手話通訳者、要約スクリーン）

■問合せ先

障がい者基幹相談支援センター

☎ 055(262)1274